

4 欧米ビジネスの概況

Withコロナ時代における社会課題の解決や新しい社会の実現にデジタルソリューションで貢献していく

COVID-19の感染拡大による経済活動の縮小は、世界のIT業界にも大きな影響を及ぼしている。NTTデータのグローバルビジネスも例外ではないが、これまで取り組んできた事業構造改革とデジタル対応力強化の成果により、新たな顧客ニーズに対応したビジネスの獲得にも繋がっている。

COVID-19 感染拡大の影響

COVID-19の感染拡大は、世界中の経済活動を停滞させ、企業のIT投資にも遅れや抑制がみられる。

NTTデータのグローバルビジネスも大きな影響を受けており、一部の地域ではお客様が経営破綻の危機にさらされている状況さえ見受けられる。一方で、北米では公共分野を中心とした大型案件の復調により、また欧州ではスペインの金融機関やドイツの自動車への影響、中南米での為替影響があるものの、デジタル関連案件の活性化により当初想定よ

りも影響が少なく推移している。

今秋以降の感染再拡大による先行き懸念はあるものの、これまで取り組んできた構造改革とデジタル対応力強化の成果が徐々に現れていると言えるだろう。

北米

Digital領域における Only One企業を目指す

北米においては、「アウトソーシングサービスの高度化とデジタル対応力強化によって、“Digital領域におけるOnly One企業”を目指す」ことをテーマとし、このコロナ禍だ



株式会社 NTT データ
欧米事業推進部長
田中 学氏

からこそ、デジタル中心への事業変革を加速している。

具体的には、元来の強みであるアウトソーシング (AMO、ITO、BPO) で、今後のさらなる効率化に重要となる自動化技術やクラウド対応、AIの活用等を進めてサービスの高度化をはかるとともに、注力するソリューションを絞り、デジタル対応力の集中強化をはかっている。

アウトソーシング高度化に向け Acorioを買収

デジタル中心への変革を実現するには、人財の拡充が欠かせない。

この8月には、最先端サービスのデジタル対応人財をグループに加えるため、業務効率化を実現するエ

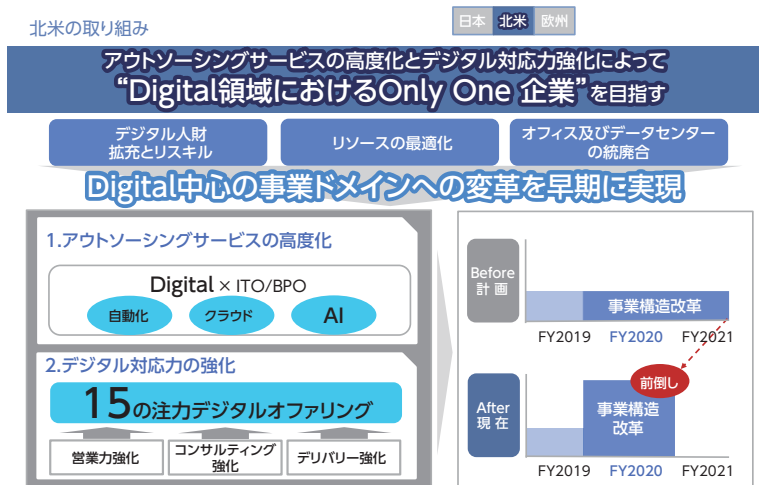


図1 北米における取り組み

インターネットクラウドプラットフォームとして世界中で注目されている ServiceNow の導入コンサルティング企業 Acorio LLC の買収に合意した。

公共分野で大型案件を受注

今期の大型受注として、オクラホマ州政府のマネージドサービス・コンサルティングサービス契約、アラバマ州年金機構のクラウド変革推進支援の案件等を獲得した。

アメリカでは、With コロナで公共サービスのさらなる効率化が模索されており、公共分野への IT 投資意欲が大きく衰えることはないとみている。

デジタル対応力強化をはかり、オフリングに集中投資をしてきたことが、このような公共分野での大型アウトソーシングのデジタル化案件受注に繋がっている。

EMEA・中南米

スペインとイタリアを先頭にデジタル案件受注が加速

EMEA・中南米においては、北米より一足先の昨年度に事業構造改革を進めた結果、デジタル人材へのシフトが加速。インダストリごとのデジタル力も強化されてきたことでデジタル関連案件の受注が増加している。

スペイン最大のガス・電力会社である Naturgy 社の戦略パートナーに選出され、向こう 10 年間にわたりデジタル技術を活用した自動化やシステムの高度化に取り組んでいくことになった他、イタリアにおいてはこれまで手がけてこなかったエネル

EMEA・中南米の取り組み

日本 北米 欧州

FY19に実施した事業構造改革の成果を元に、Covid-19影響による新規事業機会へ着実に対応

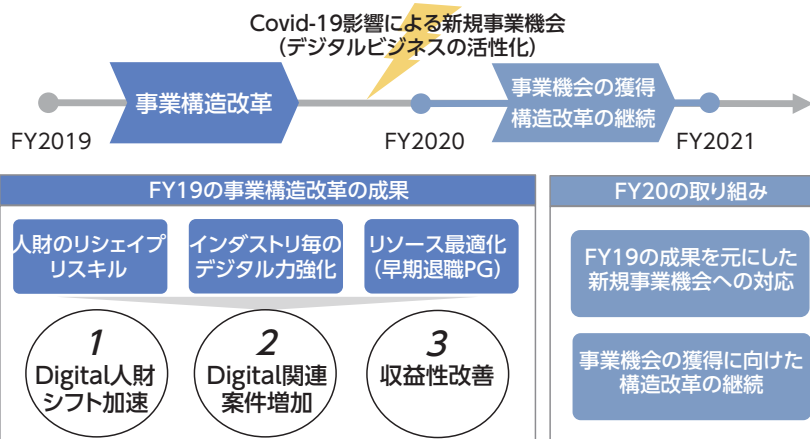


図2 EMEA・中南米における取り組み

ギー分野で、大手エネルギー総合企業である Eni 社のデジタルトランスフォーメーションパートナーとしての契約も獲得した。イタリアでは他にもデジタル系の案件受注が相次いでおり、欧州市場の中では、スペインとイタリアが他の国々を一歩リードしているという状況だ。

加えて、スペインの everis が開発した先進的医療ソリューション ehCOS が、効率的な医療業務の実現が可能になるとして、スペイン各地の病院から中南米にも広まり、さらにポルトガル最大の病院ネットワークである CUF での採用も決まった。

一体運営によるさらなる効率化を模索

欧州では、NTT DATA EMEA、everis、itelligence の 3 社が、元々持つ強みを活かしながら、それにデジタルを掛け合わせサービスの高度化を実現している。一方で、3 社のシナジー最大化に向けた取り組みも進めている。人材のリシェイプに関し

ては昨年度までにほぼ終了し、今年度はオペレーションの一体化に向けた取り組みを展開しようとしているところである。

アフターコロナに向けて

With コロナ時代においては、一般企業や公共部門のさらなる効率化・自動化が求められると同時に、様々な社会課題の解決や新しい社会の実現に向けての IT の役割も益々重要になっていくと考えられる。

先に紹介した ehCOS の遠隔医療診断ソリューション (ehCOS Remote Health) では、COVID-19 専用の機能を搭載し、自宅療養が可能な軽症患者の遠隔診療対応を実現し、感染が拡大する中での医療機関の負担軽減や、遠隔診療による感染拡大の防止に貢献した。

今後も、このような社会貢献につながるデジタルソリューションを提供できるよう、グローバルで一体となって取り組んでいきたい。